

平成29年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	5
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 長期借入金の残高状況	9
8. 償還計画と実績の対比	10
9. キャッシュフロー計算書	11
10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	12
11. 供用実績	13

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

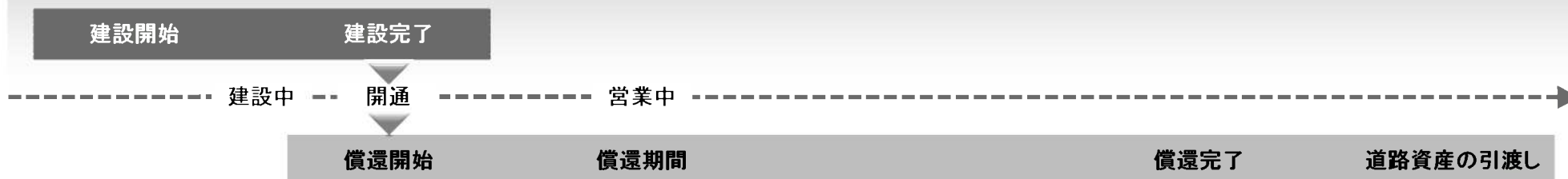
- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業制度は、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

償還準備金積立方式を採用

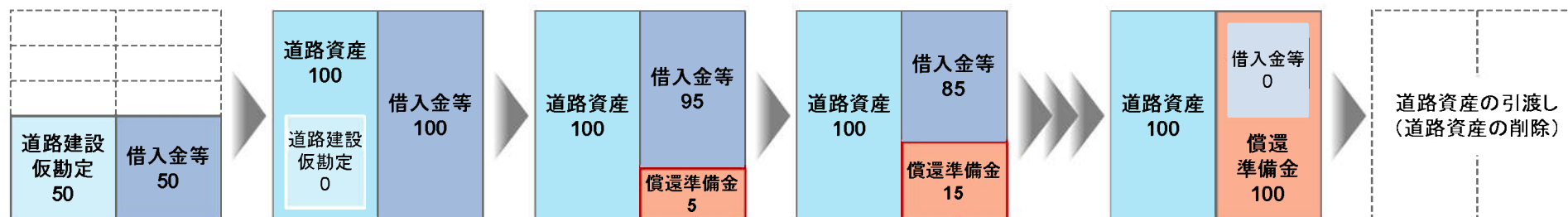
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

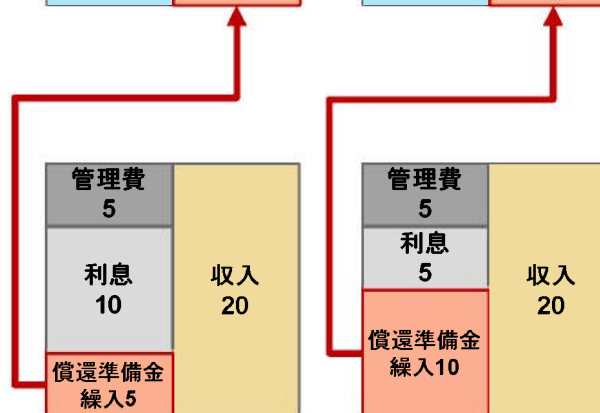
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



■ 貸借対照表



■ 損益計算書



3. 収支状況

平成29事業年度損益計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位：百万円）

費 用 の 部				収 益 の 部			
勘 定 科 目	H29年度	H28年度	増減額	勘 定 科 目	H29年度	H28年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
経常費用	60,943	59,997	946	経常収益	60,968	60,052	916
事業資産管理費	14,182	13,925	257	業務収入	60,786	59,945	841
福岡高速道路管理費	9,482	9,405	77	道路料金収入	60,182	59,355	827
北九州高速道路管理費	4,574	4,417	157	（福岡高速道路）	42,446	41,827	619
福岡駐車場管理費	77	60	17	（北九州高速道路）	17,736	17,528	208
北九州駐車場管理費	48	43	5	ETCマイルージ還元負担金収入	225	223	2
一般管理費	1,219	1,124	95	（福岡高速道路）	200	198	2
一般管理費	1,064	985	79	（北九州高速道路）	25	25	0
その他	155	139	16	駐車場料金収入	220	220	0
引当金等繰入	39,617	38,173	1,444	（福岡駐車場）	116	118	△ 2
道路事業損失補てん引当金繰入	2,786	2,748	38	（北九州駐車場）	104	102	2
（福岡高速道路）	1,965	1,936	29	その他	159	147	12
（北九州高速道路）	821	811	10	受託業務収入	124	52	72
償還準備金繰入	36,830	35,425	1,405	負担金事業受入金	19	19	0
（福岡高速道路）	27,167	26,188	979	業務外収益	39	35	4
（北九州高速道路）	9,663	9,237	426	受取利息	1	1	0
受託業務費	124	52	72	雑益 他	38	34	4
負担金事業費	19	19	0				
業務外費用	5,783	6,705	△ 922				
債券利息	4,487	5,161	△ 674				
借入金利息	1,039	1,368	△ 329				
雑損 他	256	176	80				
当期利益金	26	54	△ 28				
合 計	60,968	60,052	916	合 計	60,968	60,052	916

（注）端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、427億6,500万円(対前年度比6億4,900万円の増)となりました。景気回復の影響などで通行台数が増え、高速道路通行料金が増加しました。
(通行台数は、前年度と比べ1日当たり2,497台の増加)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、155億9,800万円(対前年度比3億3,100万円の減)となりました。金利の低下などにより支払利息等が減少しました。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、271億6,700万円(対前年度比9億8,000万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

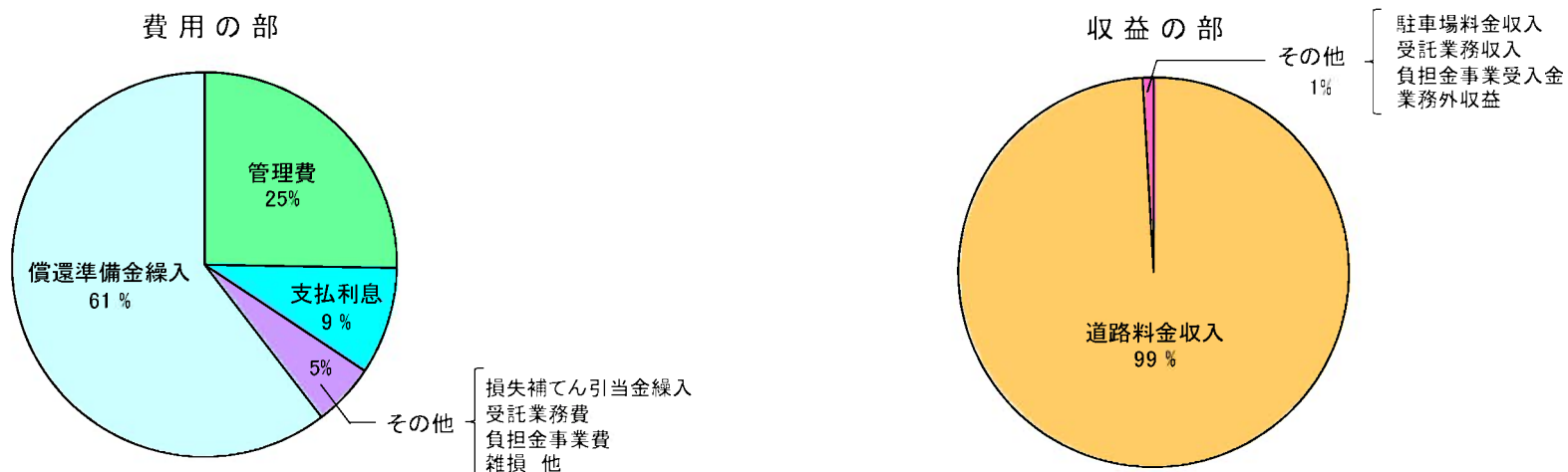
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、178億3,800万円(対前年度比1億9,600万円の増)となりました。景気回復の影響などで通行台数が増え、高速道路通行料金が増加しました。
(通行台数は、前年度と比べ1日当たり783台の増加)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、81億7,500万円(対前年度比2億3,000万円の減)となりました。金利の低下などにより支払利息等が減少しました。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、96億6,300万円(対前年度比4億2,600万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

【駐車場部門】

- ① 当期利益は2,600万円(対前年比2,800万円の減)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



4. 営業中道路の収支状況(収支率)

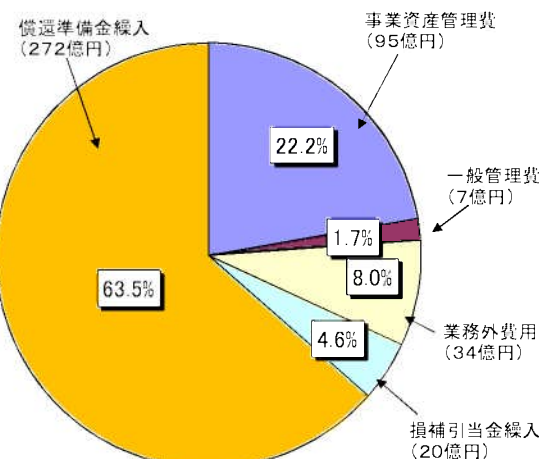
「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(単位:百万円)

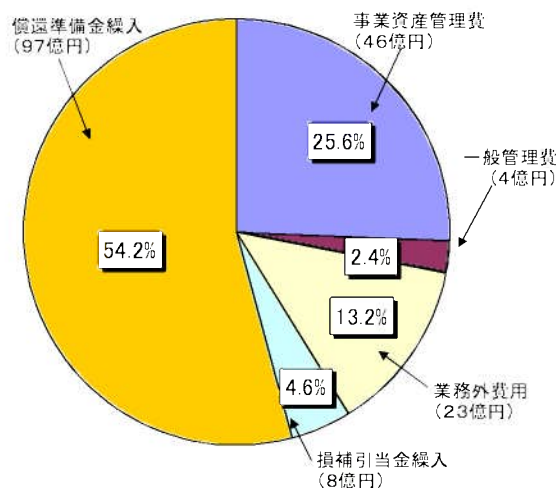
福岡高速道路									北九州高速道路								合 計							
収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A－B	収支率 B/A × 100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A－B	収支率 B/A × 100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A－B	収支率 B/A × 100	
	事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B			
H29	42,765	9,482	715	3,436	1,965	15,598	27,167	36.5%	17,838	4,574	435	2,345	821	8,175	9,663	45.8%	60,604	14,057	1,150	5,780	2,786	23,773	36,830	39.2%
H28	42,116	9,405	607	3,980	1,936	15,929	26,188	37.8%	17,642	4,417	452	2,724	811	8,405	9,237	47.6%	59,759	13,822	1,059	6,705	2,748	24,334	35,425	40.7%

(注)端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

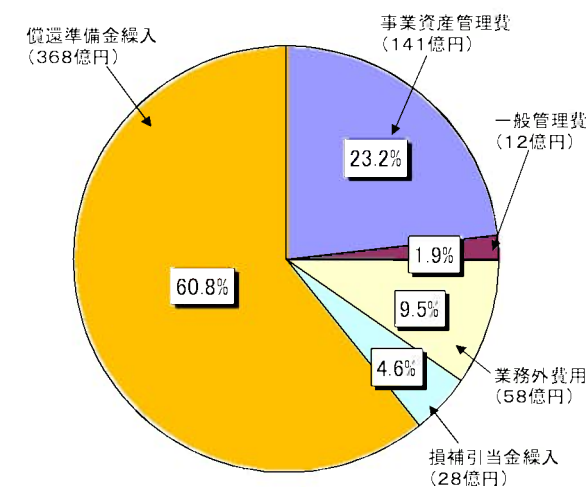
福岡高速(費用の内訳)



北九州高速(費用の内訳)



合 計(費用の内訳)



5. 財務状況

平成29事業年度貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位: 百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H29年度	H28年度	増減額	勘 定 科 目	H29年度	H28年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
流動資産	7,454	5,595	1,859	流動負債	79,358	73,896	5,462
固定資産	1,260,053	1,254,140	5,913	固定負債	488,660	526,661	△ 38,001
事業資産	1,250,950	1,249,091	1,859	福岡北九州高速道路債券	314,500	328,300	△ 13,800
(福岡高速道路)	875,147	873,370	1,777	長期借入金	166,996	191,161	△ 24,165
(北九州高速道路)	375,804	375,721	83	退職給与引当金	115	151	△ 36
事業資産建設仮勘定	5,753	1,456	4,297	ETCマイレージ引当金	159	160	△ 1
(福岡高速道路)	5,753	1,456	4,297	資産見返交付金	6,889	6,889	0
(北九州高速道路)	0	0	0				
有形固定資産	1,674	1,731	△ 57	特別法上の引当金等	477,171	437,554	39,617
その他	1,676	1,862	△ 186	道路事業損失補てん引当金	32,726	29,940	2,786
				(福岡高速道路)	11,236	9,270	1,966
				(北九州高速道路)	21,490	20,669	821
繰延資産	907	928	△ 21	償還準備金	444,445	407,614	36,831
				(福岡高速道路)	374,662	347,494	27,168
				(北九州高速道路)	69,783	60,120	9,663
				(負債合計)	1,045,188	1,038,111	7,077
				基本金	222,168	221,520	648
				剰余金	1,058	1,032	26
				(資本合計)	223,225	222,551	674
資 産 合 計	1,268,414	1,260,663	7,751	負債・資本合計	1,268,414	1,260,663	7,751

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

（資産の状況）

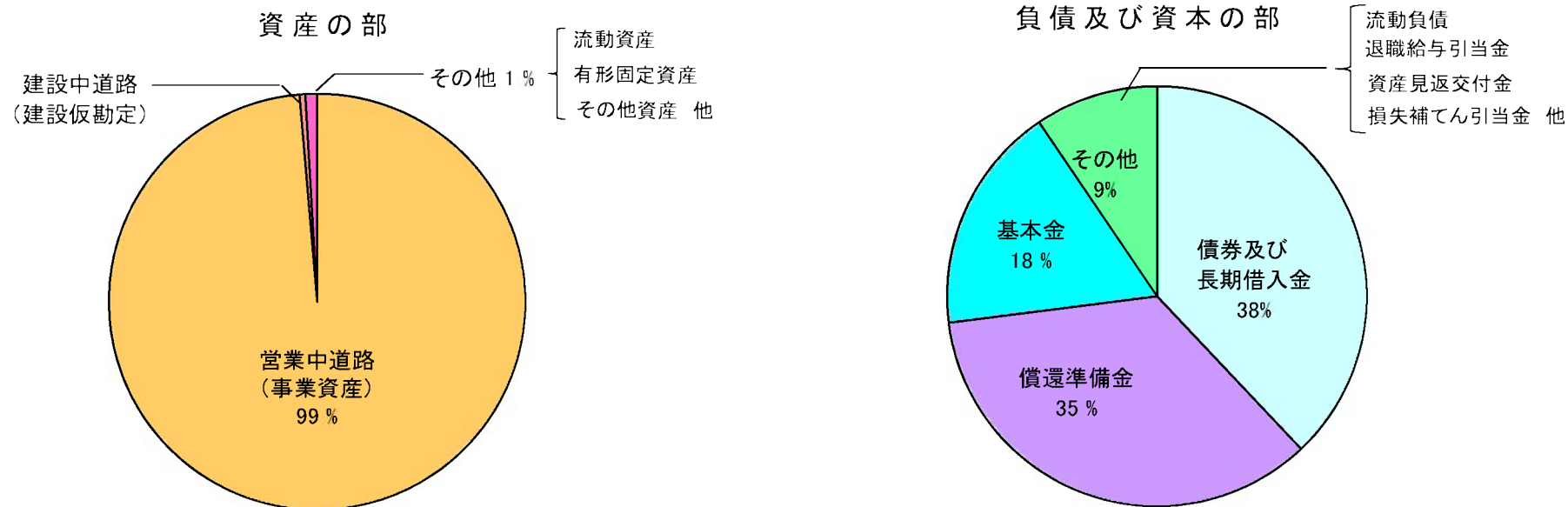
資産の総額は、1兆2,684億1,400万円となっています。このうち、営業中の道路資産は1兆2,509億5,000万円、工事中道路の道路資産は57億5,300万円となっており、資産全体の約99%を占めています。

（負債及び資本の状況）

負債及び資本の総額は、1兆2,684億1,400万円となっています。主なものは、道路債券などの借入金残高が5,542億5,300万円（流動負債計上分の1年以内返済予定債券・借入金727億5,700万円及び固定負債計上分4,814億9,600万円の合計額）、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額（償還準備金）が4,444億4,500万円（福岡高速3,746億6,200万円、北九州高速697億8,300万円）、地方公共団体からの出資金が2,221億6,800万円となっています。

（注） 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H29	872,833	374,662	498,172	42.9%
H28	871,056	347,494	523,562	39.9%

【北九州高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H29	371,228	69,783	301,444	18.8%
H28	371,145	60,120	311,025	16.2%

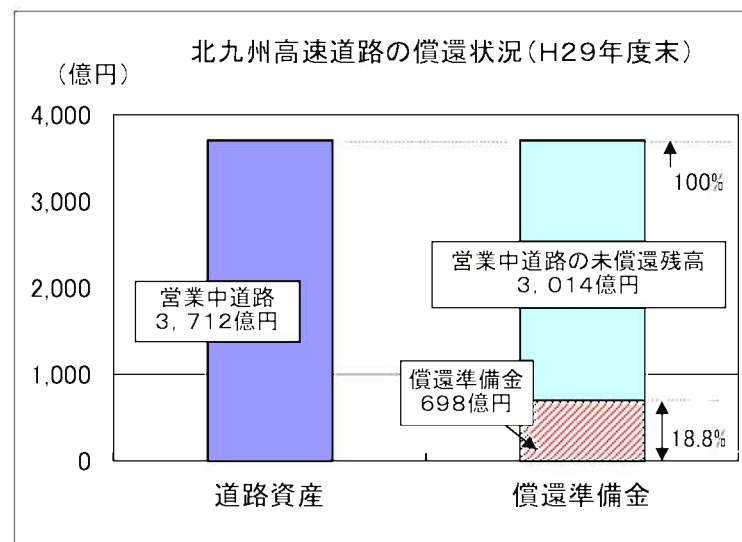
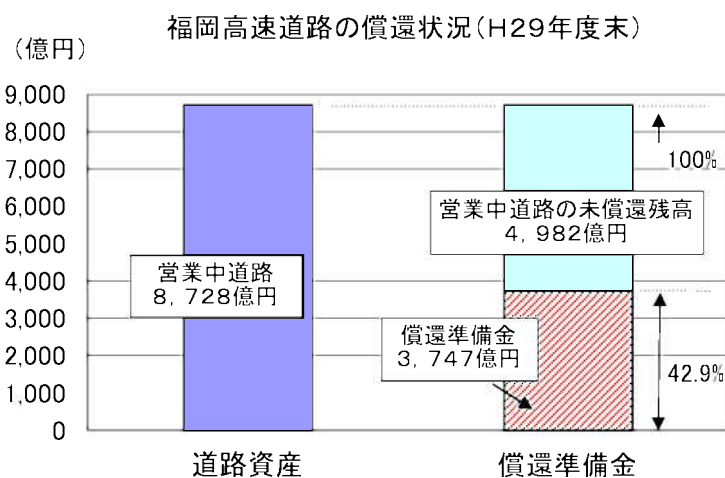
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位: 百万円)

	営業中道路の 資産総額 (a)	資産見返 交付金 (b)	営業中道路 (償還対象額) (a-b)
福岡高速道路	875,147	2,313	872,833
北九州高速道路	375,804	4,576	371,228



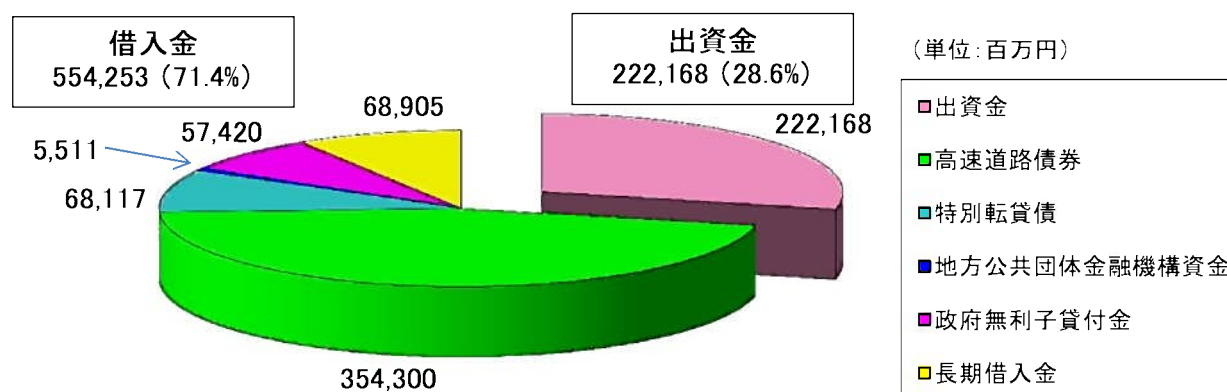
7. 長期借入金の残高状況

平成29年度末借入金残高

(単位:百万円)

		全 体			路線別内訳				
					福岡高速			北九州高速	
		H29年度	H28年度	増減額	H29年度	H28年度	増減額	H29年度	H28年度
		A	B	A-B	A	B	A-B	A	B
設立団体出資金		222,168	221,520	648	164,672	164,024	648	57,496	57,496
借入金	高速道路債券	354,300	364,800	△ 10,500	191,308	197,328	△ 6,020	162,992	167,472
	特別転貸債	68,117	76,044	△ 7,926	57,672	63,210	△ 5,538	10,445	12,833
	地方公共団体金融機構資金	5,511	6,587	△ 1,076	4,456	5,320	△ 864	1,055	1,267
	政府無利子貸付金	57,420	69,706	△ 12,286	45,585	54,932	△ 9,347	11,835	14,774
	長期借入金	68,905	71,100	△ 2,195	31,725	33,800	△ 2,075	37,180	37,300
	計	554,253	588,237	△ 33,984	330,746	354,590	△ 23,844	223,507	233,647
合計		776,421	809,757	△ 33,336	495,418	518,614	△ 23,196	281,003	291,142

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



8. 償還計画と実績の対比

【平成29年度決算】

(単位: 億円)

道路名		収益(a)	費用(b)				償還準備 金繰入 (a-b)	償還準備金	事業資産 (交付金除 く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補てん	金利	合計				
合 計	決算	606	152 (35)	28	58	238	368	4,444	12,441	36%
	計画	548	137 (20)	26	130	294	255	4,037	12,441	32%
福岡高速	決算	428	102 (25)	20	34	156	272	3,747	8,728	43%
	計画	359	92 (13)	17	82	191	168	3,312	8,728	38%
北九州高速	決算	178	50 (11)	8	23	82	97	698	3,712	19%
	計画	189	45 (7)	9	48	102	87	725	3,712	20%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

●償還計画の対比方法

実績(平成29年度決算)と対比するため、償還計画に対し、収支計算と損益計算の差額を加減算しました。

償還計画は、福岡高速は平成24年7月料金認可、北九州高速は平成20年10月料金認可を使用しました。

償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差し引いたもので除して算出しております。

●損失補填引当金

損失補てん引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補てんに充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補てん金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

損失補てん金の残高は平成29年度末で327億円となっています。

9. 平成28・29事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	H29事業 年度 A	H28事業 年度 B	増減額 A－B
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期償還準備金繰入	368.3	354.2	14.1
当期利益	0.3	0.5	△ 0.3
減価償却費	1.5	1.3	0.2
債券発行諸費等償却	1.4	1.5	△ 0.1
退職給与引当金等の増減額	△ 0.1	△ 0.6	0.5
E T Cマイレージ引当金の増減額	0.0	0.0	0.0
損失補てん引当金の増減額	27.9	27.5	0.4
債券利息	44.9	51.6	△ 6.7
借入金利息	10.4	13.7	△ 3.3
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	△ 0.9	△ 1.8	0.9
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	11.0	1.1	9.9
その他の増減額	0.9	0.0	0.9
小 計	465.5	449.1	16.4
利息の受取額	0.0	0.0	0.0
債券利息等の支払額	△ 45.9	△ 52.5	6.5
借入金利息の支払額	△ 10.5	△ 13.9	3.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	409.1	382.7	26.4
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	△ 4.4	△ 5.2	0.8
建設仮勘定の取得による支出	△ 51.4	△ 23.5	△ 27.9
固定資産の取得による支出	△ 1.0	△ 1.8	0.8
事業資産等の売却による収入	0.0	0.0	0.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 56.8	△ 30.5	△ 26.3
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	0.0	0.0	0.0
短期借入金の返済による支出	0.0	△ 30.0	30.0
長期借入による収入	87.7	108.6	△ 20.8
長期借入金の返済による支出	△ 322.8	△ 365.3	42.5
債券の発行による収入	259.0	418.3	△ 159.4
債券の償還による支出	△ 365.0	△ 490.0	125.0
出資金の受入による収入	6.5	2.2	4.3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 334.6	△ 356.1	21.6
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	0.0	0.0
V 現金及び現金同等物の増加額	17.7	△ 4.0	21.7
VI 現金及び現金同等物期首残高	1.8	5.7	△ 4.0
VII 現金及び現金同等物期末残高	19.5	1.8	17.7

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	19.5 億円	1.8 億円	17.7 億円
現金及び現金同等物	19.5 億円	1.8 億円	17.7 億円

10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

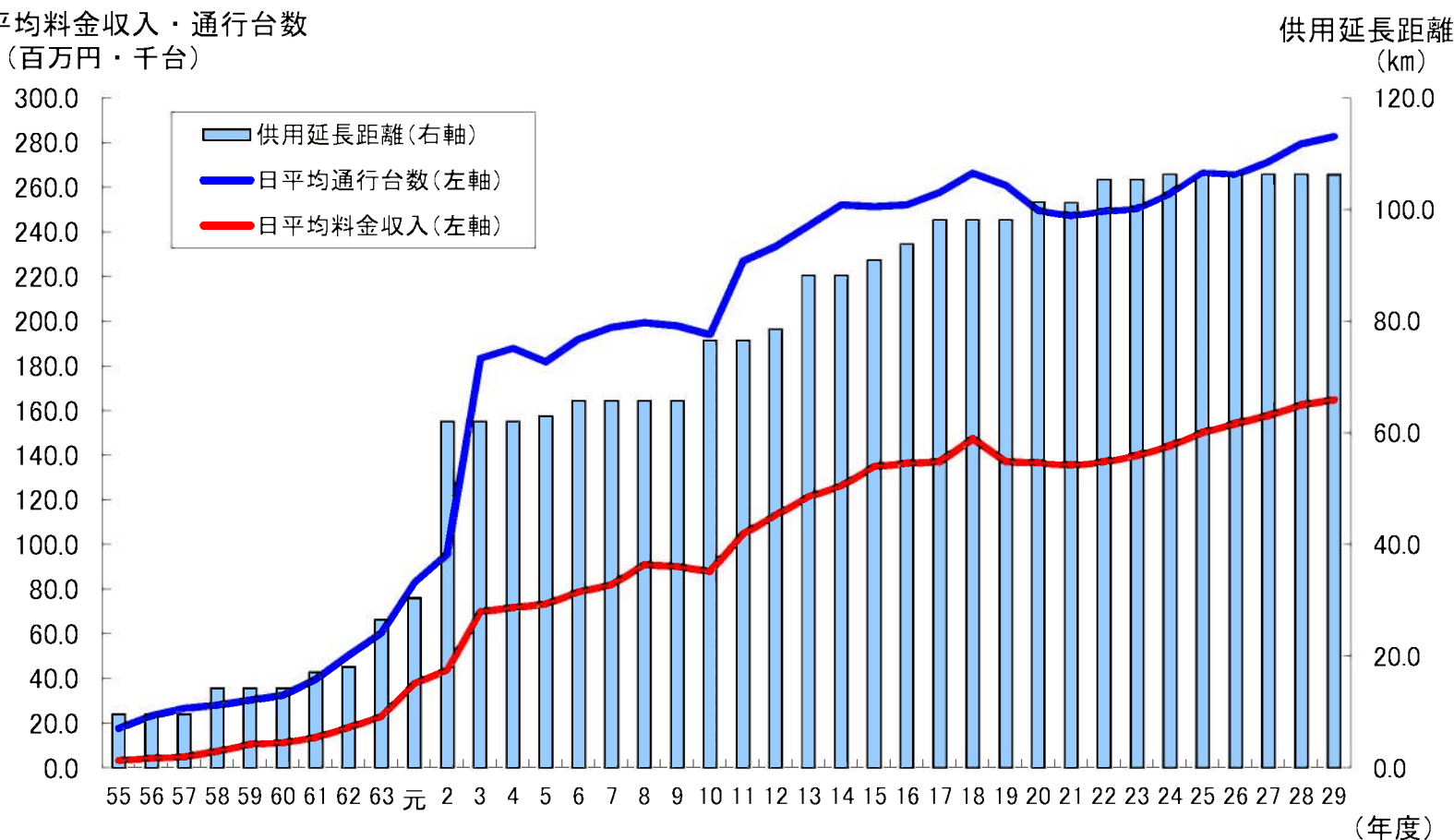
平成29年度

料金収入 **602億円**

日平均料金収入 **1.6億円**

日平均通行台数 **28.3万台**

日平均料金収入・通行台数
(百万円・千台)



供用延長距離	
平成30年3月末現在	
106.3km	
料 金	
福岡高速	
普通車	620円
大型車1	230円
北九州高速	
普通車	510円
大型車1	030円

1 1. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5. 9	5. 9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	－	5. 9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	－	5. 9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1. 5	7. 4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0. 8	8. 2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1. 0	9. 2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2. 1	11. 3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H1. 3. 4	5. 2	16. 5	西公園～百道	1, 000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
	H1. 10. 1	－	16. 5	料金改定 (消費税3%転嫁)	1, 030	510
	H2. 12. 25	－	16. 5	名島本線料金所拡張		
	H3. 3. 21	－	16. 5	東浜西出口		
	H4. 4. 23	－	16. 5	名島出入口		
	H4. 7. 1	－	16. 5	東浜西入口		
	七次供用	H5. 4. 2	0. 9	17. 4		
八次供用	H6. 4. 4	2. 8	20. 2	榎田～月隈北	1, 100	550
	H9. 6. 1	－	20. 2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3. 27	10. 8	31. 0	月隈～水城		
				貝塚 J C T～粕屋		
	H12. 3. 28	－	31. 0	料金改定・貝塚入口		
十次供用	H12. 11. 21	0. 5	31. 5	貝塚 J C T (渡り線)	1, 200	600
十一次供用	H13. 10. 13	5. 3	36. 8	百道～福岡		
十二次供用	H14. 3. 10	1. 9	38. 7	粕屋～福岡 I C		
	H15. 5. 1	－	38. 7	料金改定	1, 230	620
十三次供用	H15. 5. 1	2. 7	41. 4	月隈 J C T～板付		
十四次供用	H16. 6. 27	2. 9	44. 3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五次供用	H18. 3. 26	4. 4	48. 7	野多目～堤	1, 200	600
十六次供用	H20. 4. 19	3. 1	51. 8	堤～野芥		
十七次供用	H23. 2. 26	4. 1	55. 9	野芥～福岡		
十八次供用	H24. 7. 21	0. 9	56. 8	福岡 J C T (渡り線)	1, 230	620
	H26. 4. 1	－	56. 8	料金改定 (消費税5%→8%)		
備 考	福岡高速全号線に、ETC導入 (H18. 4. 1)					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長（km）		供用区間	料 金（円）	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園	700	350
				東港出入口		
	S59. 4. 21	－	6. 9	篠崎南出口		
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代		
				篠崎南入口		
四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下剉津		
五次供用	H1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑（消費税3%転嫁）	720	360
六次供用	H2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸		
				東港 J C T～小倉駅北		
				西港出口		
				東港出入口廃止		
七次供用	H3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金（4号線）	300	150
					400	200
					500	250
					600	300
					720	360
	H5. 4. 1	－	45. 6	料金改定	720	360
	H7. 9. 30	－	45. 6	山路出入口	900	450
H9. 6. 1	－	45. 6	料金改定（回数通行券料金）			
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代		
	H12. 11. 1	－	47. 1	料金改定	1, 000	500
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T		
十次供用	H18. 2. 26	－	49. 5	小倉東IC接続		
	H26. 4. 1	－	49. 5	料金改定（消費税5%→8%）		
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設（H17. 3. 31供用） 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設（H18. 3. 4供用） 北九州高速全号線に、ETC導入（H20. 11. 1） 北九州高速5号線と北九州市道東田出入口が接続（H22. 12. 15）					

（注）料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。